

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和4年度 単価契約危機管理型水位計運用システム利用
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中部地方整備局長 堀田 治 名古屋市中区三の丸2-5-1名古屋合同庁舎第2号館
契約締結日	令和 4年 4月 1日
契約の相手方の氏名及び住所	一般財団法人河川情報センター 東京都千代田区麴町1丁目3番地
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	
随意契約によることとした理由	<p>危機管理型水位計の運用においては、水位観測時のデータを一括で処理するシステムを運営するため、河川管理者である国・県・市町の76機関で構成される「危機管理型水位計運用協議会」（以下、「協議会」という）が設立されている。</p> <p>その協議会において、一般財団法人 河川情報センター（以下、「河川情報センター」という）がすでに構築している「危機管理型水位計運用システム」を活用することが決定されている。</p> <p>以上より、危機管理水位計が観測した水位データを速やかに収集処理し、一般住民等へ提供するための「危機管理型水位計運用システム」の利用について、「協議会」における決定事項に基づき、「河川情報センター」と随意契約を締結するものである。</p>
備考	